本紙は女性による平和と平等を推進します

回覧

発行所
全国婦人新聞社
〒160 東京都新宿区西新宿3-7-28 宝幸西新宿ビル
電話 03(3343)1846(代)
FAX 03(3348)1890
振替口座 東京(5)172320

全国婦人新聞

ご購読料
1年 5,000円
（郵送料900円を含む）
現金・切手・振替で前納
月3回発行
10日・20日・30日

アファーマティブ
アクションで
女性の地位向上を!!
全国婦人新聞

女性の可能性を開花させよう！

失敗も共有の情報に
途上国の現状に配慮を

横浜女性フォーラム

「開発と女性国際セミナー」フィールドからの報告に学ぶ、女性の参加を高める国際協力について」というセミナー（主催・国際協力事業団＝JICA、横浜市）が、七日、横浜女性フォーラム（有馬真喜子館長）で開かれた。このセミナーは、開発途上国の現状に配慮しながら、女性の参加を高める国際協力の方法について意見交換、合わせて、国、地方自治体とNGOの協調、協力のありかたを考えようというもの。フィリピン、ケニア、タイ、バングラデシュの四カ国における、開発プロジェクトのノウハウやその成果を聞き、今後の開発と女性のあり方について考えた。

開発と女性国際セミナー

フィールドからの報告に学ぶ
女性の参加を高める国際協力について

マーガレット・シールズさん（INSTRAW所長）、目黒依子さん（上智大教授、JICA「開発と女性」援助研究会座長）の基調講演。第一セッションでは、「コミュニティー開発の中の女性の視点」、第二セッションでは「我が国のWIDの協力現場から」と題してパネルディスカッションが行われ、パネリスト、フロアー参加者から、コメントや意見が出された。

WID（開発と女性）とは、途上国における開発計画の中で、女性の役割を重視し、開発活動への女性の参加を積極的に推進するという考え方。これを基本に、開発プロジェクトがいろいろな国で実施され、成功している。

WIDに関する国連ベースの取組が始まったのは、国際婦人年があった、一九七五年のことで、この年には、WIDに関する調査研究普及機関である「国際女性研究訓練所」（INSTRAW）が設立されている。我が国のWIDの取組は、一九八七年にOECF（海外経済協力基金）にWID担当職員を配置したことに始まるが、一般には余り知られず、WIDに関する関心が高まったのは、ここ二、三年のことである。一九九〇年～九一年にかけて、JICAでWID援助研究会が実施され、日本のWID援助についての提言が行われた。昨年、JICAは、環境WID等事業推進室を設置、専任担当者を配置。NGOでも、ようやく、途上国の女性に対する関心が見え始め、WIDという考え方が定着し始めた。

「女性に光を当てる」をテーマに基調講演をしたシールズさんは、INSTRAWの仕事の概要を紹介。女性に光を当てるのに必要なのは、新たな問題分野に関する統計の収集とそれに必要な方法を教えるためのワークショップの実施などだという。

INSTRAWでは、いわゆるインフォーマル・セクターに焦点を合わせた新しいプロジェクトを実施。インフォーマル・セクターに融資制度を導入する開発計画にも焦点を当てているという。「何が物事を好転させ、何が不要なのか。何が最悪の結果を招くのかなど、良く把握する必要がある。私たちがある情報を分かちあうと同時に、開発した方法もできるだけ多くの人が活用できるよう提供したい」とシールズさんは話した。

目黒さんは、「日本におけるWIDへの取組について」。日本でのWIDへの動向を歴史的に振り返りながら、「WIDは、女性を開発の受益者としてのみならず、積極的な担い手として位置付け、すべての分野・プロセスに女性が参加し、女性の全般的な地位向上を促進することである——というとき、具体的に誰がどのようにそれを実現するかによって、意味が違ってくる」と語り、開発援助においては、援助の提供側と受ける側があり、さらに受ける側の「誰」であるかが問題となるという。また、開発援助を必要とする国の事情も多様で、ニーズも違うことから、「WIDは、『女性のため』だけでなく、意味が違ってくる」と語り、開発援助においては、援助の提供側と受ける側があり、さらに受ける側の「誰」であるかが問題となるという。また、開発援助を必要とする国の事情も多様で、ニーズも違うことから、「WIDは、『女性のため』だけでなく、『女性の視点を通して社会のあらゆるメンバーのため』を目指すアプローチであることの認識、理解を広めることが重要である」とした。

▽……▲
WIDは受益国の価値観で
▽……▲

第一セッションでは、レメディオス・リケンさん（フィリピン女性協議会会長）が、フィリピンのサンミゲールに住む貧しい農家の主婦を受益者とする、養豚普及パイロット・プロジェクトについて、マーサ・メーニャさん（開発コンサルタント）がケニアの地方都市キスム市で実施されたマーケットの資金貸し付けプロジェクトについて、事例報告。

第二セッションは、日本が行ったWIDについて、タイ・バンコクにあるILO（国際労働機関）のアジア太平洋事務所に派遣、女性労働者教育を中心とする労働者教育にかかわった鈴木陽子さん（日本労働組合総連合会国際局部長）と、バングラデシュで地場産業を目指す商品開発にかかわり、そこで見えてきたWIDの課題を生江明さん（開発コンサルタント）が報告。各セッションごとに、パネリストがコメントした。

第一セッションは、養豚から、縫いぐるみ生産、緑化運動へとどんどん活動を広げたサンミゲールの女性たちと、マーケット・マミーと呼ばれる女性たちの生活向上を図る融資中心のプロジェクトの実施というケース・スタディを聞き、田中美子さん（JICA国際協力専門員）、赤松史朗さん（同、目黒依子さん（前出）がコメントした。

リケンさんの報告のなかで注目されたのは、GO（政府）、NGO（非政府機関）、PO（ピープルズ・オーガニゼイション）という分け方があるということ。サンミゲールの養豚普及のためにつくられた組合は、いわば、PO。NGOは、あくまでも、POとGOのパイプ役になっているということ。

この話を受けて、POとNGOの関係について、「以前フィリピンで、どうやって、自分たちの生活が良くなるか、一年くらい現地に入り皆で検討。その地域の価値観で考えていこうというのに感銘した。そういう視点が日本には欠けている」（田中さん）。「日本は、経済力をつけると同時に男女平等になれなかった先進国。違うやり方で途上国の開発を考えなければ」（目黒さん）。「途上国のニーズが見えないというのは、関係者のエクスキューズではないのか」（赤松さん）。

▽……▲
まず、可能性を探すことから
▽……▲

第二セッションでは、原ひろ子さん（お茶の水大女性文化研究センター教授）、谷口佳子さん（共栄学園短大教授）、シールズさん（前出）がコメント。

生江さんは、バングラデシュの女性たちが、限られた色でしか刺繍をしていないのに疑問を持ち調べてみたら、その色の糸しか売られていなかったこと。そこで、色を増やしたところ、さまざまなデザインの刺繍が生まれたことから「選択の幅が広がると、一人一人の個性が生まれる。『女性と開発』の課題のひとつは、マイナスの出発を余儀なくされている女性たちの可能性を開花する媒介を見つけ、促進することではないか」と語り、プロジェクトによっては、女性たちに利益が落ちないことがあるという例も示した。

これに対して、「連帯が深まり、広がっていくWIDを考えたとき、失敗の積み重ねを共有の情報にしていくことが大切」。また、生江さんの報告を受けて、「当面の波及効果という点で、地場にどれだけの金が落ちているのか分かるという資料を二十年くらいさかのぼってJICAが出してくれるといいが」（原さん）。「開発をする場合、地域の特性がある。ODA、NGOにしても上からのアプローチが多いような感じがする。もっと地元のもっているものを生かしたものであってほしい」（谷口さん）。「開発には、コミュニケーションがたいせつ」（シールズさん）。

▽……▲
住民側に立ったプロジェクトを
▽……▲

パネリスト全員がそろっての全体討論では、会場からの意見も含め、WIDにむけての課題が提起された。目黒さんは、「女性が組織し、収入を増やすのはいいことだが、その社会とどう関わるか気になる。組織したものが、社会の仕組みを変える作業なのか。今までの仕組みを維持するためにやっていくのか、社会より個人の収入が上がればいいのか、大きな課題だ」。また、開発における環境問題について会場から意見があり、田中さんは「JICAのWIDでのプロジェクトでも環境の審査機能が確立されていない。社会的影響の問題になるのは、プロジェクトが作られるプロセスに問題があり、住民側でなく政府間のトップ・ダウンになっている」。

WIDに対する認識はまだまだこれから。「生活改善の中で水道設置のために議会に働きかけた日本の女性たち。こうした日本の女性の経験をもう一度解釈し直してみること。そうすれば、途上国の女性のことも考えられるのではないか」田中さんはこう話したが、WIDに関して、日本女性ができることは、たくさんあることを認識させるセミナーだった。

▶井戸は村の大切な財産。重労働の水汲みは、村の女性皆で行う（ニジェール＝JICA「WID」パンフレットより

海外通信

インド＝①鳥居千代香

インドの女たち

差別される未亡人

未亡人になってもムドガルさん（中）は積極的に生きている。赤線地帯で元歌手（左）に話を聞く

インドの人口はいま八億五千万近い。その二〇％が都市に、八〇％が農村に住んでいる。都市と農村、宗教による差は大きい。

インド人は何らかの宗派に属し、改宗しない限り、生まれた家の宗教に死ぬまで規制される。ヒンドゥー教徒八二・七二％、イスラム一一・四三％、キリスト二・六〇％、シーク一・八九％、仏教〇・七〇％、ジャイナ〇・四七％、その他と不明〇・四％。

八割を占めるヒンドゥー教徒の場合、カースト制度という身分制度があるため、身分の上下で生活は雲泥の差だ。女性でも高い身分からは、故インディラ・ガンディ首相を始め大使、州知事など日本よりずっと早くから出している。こうしたエリート女性は尊敬され、女性の上司の下で働くことに男性の抵抗はなく、むしろ女性の上司の方が好まれる面もある。家庭の中や身分の低い層では女性は差別を受ける。

インドでは、社会活動家であることがステイタスシンボルになっている。もちろんこれができる余裕と教育がある層だが。「カリヤニ」は地味に根気強く実践している団体の一つだ。代表はサルラ・ムドガルさん。自分の家の食堂をオープンして、つぎからつぎに訪れる見ず知らずの人の相談に乗っている。

女性たちの悩みは日本人が聞くと考えられない内容が多い。ダウリー（持参金）が少ないと娘さんを焼き殺された母。娘を殺した夫はすぐに再婚し、何の罪にも問われていないという。夫に重婚され、ついには夫に家から追い出されそうな妻。子供と生きて行く手段がないので、新しい妻のいる家でいいからなんとか一緒にいたいという——。

夫と口論し、酸をなげつけられ、家から追い出されその日の生活に困っている女性。顔、首、胸——全身黒く焼けただれひきつり、メイドの仕事をしたいが雇ってもらえないという。彼女の夫も〝証拠不十分〟で罪に問われていない。彼女はイスラム教徒なので、女性の方から離婚するのはむずかしい。

インドでは一九八四年に家庭裁判所を設立することが決ったが、まだできておらず、それに似た機能をデリーではたしているのが、「デリー法律的援助＆助言委員会」である。ムドガルさんはこの委員でもあり週に何度か足を運ぶ。

ムドガルさんがこうした仕事を始めたきっかけは社会活動家だった義理の母の影響というが、有名な眼科医だった夫のムドガル氏の協力も大きかった。大変仲のよい夫婦だったが、昨年夏、突然ムドガル氏が亡くなってしまったのだ。

インドでは未亡人は〝不吉〟といわれ、社会的に差別される。昔のようなサティ（夫を焼く新の上で焼かれて死ぬ寡婦殉死）や、頭をつるつるに剃られるようなことはほとんどなくなっているが、まだ白いサリーを着る未亡人は多い。一緒に外出したとき、ムドガルさんも白いサリーを着るかな、と一時心配した。

衣服や装飾品の区別も……

鳥居千代香　一九四八年生まれ。ジャワハルラール・ネルー大学（インド）社会学科研究員。帝京女子短期大学専任講師。
訳書＝『焼かれる花嫁』『0度の女』、『インドの女たち』（以上三一書房）、『女子刑務所』（明石書房）他。

インドでは、故インディラ・ガンディ首相を始め大使、州知事など日本よりずっと早くから出している。こうしたエリート女性は尊敬され、女性の上司の下で働くことに男性の抵抗はなく、むしろ女性の上司の方が好まれる面もある。家庭の中や身分の低い層では女性は差別を受ける。

インドでは、社会活動家であることがステイタスシンボルになっている。もちろんこれができる余裕と教育がある層だが。「カリヤニ」は地味に根気強く実践している団体の一つだ。代表はサルラ・ムドガルさん。自分の家の食堂をオープンして、つぎからつぎに訪れる見ず知らずの人の相談に乗っている。

女性たちの悩みは日本人が聞くと考えられない内容が多い。ダウリー（持参金）が少ないと娘さんを焼き殺された母。娘を殺した夫はすぐに再婚し、何の罪にも問われていないという。夫に重婚され、ついには夫に家から追い出されそうな妻。子供と生きて行く手段がないので、新しい妻のいる家でいいからなんとか一緒にいたいという——。

夫と口論し、酸をなげつけられ、家から追い出されその日の生活に困っている女性。顔、首、胸——全身黒く焼けただれひきつり、メイドの仕事をしたいが雇ってもらえないという。彼女の夫も〝証拠不十分〟で罪に問われていない。彼女はイスラム教徒なので、女性の方から離婚するのはむずかしい。

インドでは一九八四年に家庭裁判所を設立することが決ったが、まだできておらず、それに似た機能をデリーではたしているのが、「デリー法律的援助＆助言委員会」である。ムドガルさんはこの委員でもあり週に何度か足を運ぶ。

ムドガルさんがこうした仕事を始めたきっかけは社会活動家だった義理の母の影響というが、有名な眼科医だった夫のムドガル氏の協力も大きかった。大変仲のよい夫婦だったが、昨年夏、突然ムドガル氏が亡くなってしまったのだ。

インドでは未亡人は〝不吉〟といわれ、社会的に差別される。昔のようなサティ（夫を焼く新の上で焼かれて死ぬ寡婦殉死）や、頭をつるつるに剃られるようなことはほとんどなくなっているが、まだ白いサリーを着る未亡人は多い。一緒に外出したとき、ムドガルさんも白いサリーを着るかな、と一時心配した。

21世紀に向けて
平和、軍縮、労基法改正
共同目標を発表！
婦団連

日本婦人団体連合会（櫛田ふき会長、二十団体加盟七十万人）は、このほど「2000年にむけて『平等・開発・平和』実現をめざす『共同目標』」を発表した。

これは二十一世紀にむけて、真の女性の地位向上に向けての運動をすすめるための目標・戦略で、婦団連加盟団体が三年余りの討議を重ねてまとめたもの。すでに政府は、八七年に「新国内行動計画」を策定（九一年第一次改訂）。民間でも「国際婦人年日本大会の決議を実現するための連絡、会」（五十団体）の策定した民間行動計画があり、婦団連も「五十団体」に参加している。しかし、五十団体は幅広い立場であり、婦団連としての視点を明確にしたいというもの。

つまり、わが国の女性の状況はずい分変わったが、「均等法下」の地位の向上。男女の賃金差は変わらず、一方男並みに使われ、女性のカローシまで生み出している。政府の「新国内行動計画」は、均等法下」を認め、〝企業のための女性の活用〟という考え方で、これでは結局、女性の地位はよくならない、というのが婦団連の考え方である。また、〝平和〟については「新国内行動計画」は軍縮にも核兵器廃絶にも全くふれていないと批判している。

婦団連は、この「目標」実現のために運動をすすめるとともに、平等のためには男並みに、と後退させられた労基法の保護部分を取り返せと主張。

また、平和、国際協力では、すべての軍事ブロックの解体、日米安保条約の廃棄、外国基地の撤去、憲法なしくずし改憲反対、自衛隊海外派兵を許さない、ODAの見直し、侵略戦争を厳しく反省し、従軍慰安婦などの犯罪行為の責任を明確にし、補償を行うなどを明記している。

齢婦人⑤くらし・環境⑥政策・方針決定への参加⑦平和・国際協力の七章に分け百七項目にわたる具体策。

労基法の母性保護の後退部分の改正、母性保護基準のひきあげ有給保障化、労働時間（とくに一日の労働時間）の短縮、臨時労働者に労基法の完全適用、乳幼児の医療費の無料化など、具体的な改善目標をかかげている。ことに、平等のためには男並みに、と後退させられた労基法の保護部分を取り返せと主張。

また、平和、国際協力では、すべての軍事ブロックの解体、日米安保条約の廃棄、外国基地の撤去、憲法なしくずし改憲反対、自衛隊海外派兵を許さない、ODAの見直し、侵略戦争を厳しく反省し、従軍慰安婦などの犯罪行為の責任を明確にし、補償を行うなどを明記している。

たんぽぽ

今週は、二人の女性のことを思っていた。一人はモスクワで死んだ岡田嘉子さん。一度の面識もないが、かねてすてきな人だと思っていた。もちろん、老いてなお美しい容姿もだが、その毅然とした生き方に▼波乱万丈、などという言葉ではいいあらわせない大変な一生だったと思う。女優として人気の絶頂のとき、演出家・杉本良吉と国境を破ってソ連に亡命。理想を求めての筈だったのに、行った先はスターリンの恐怖政治下。スパイと疑われた杉本は殺され、しかもその真相がわかったのは、つい二、三年前だ▼岡田嘉子も不遇の生活をつづけ、志望のモスクワ演劇学校に入れたのが五十一歳のとき。普通の人なら悔の残る人生だったかもしれないが、私はこの人のグチめいた話を聞いたことがない。死亡記事ののった新聞に、昨年三月に会ったという山田洋次監督の談話が出ていたが、日本に帰ったらとすすめる監督に「私は日本を捨てた人間だからモスクワで死ぬ」といったという。いさぎよいというか、自分の道を歩きつづける土性骨というか。凄いな、と思った。▼もう一人は橋本聖子さん。千五百㍍の銅メダル。冬季オリンピックでは日本女性初のメダルだ。おめでとう。聖子さんを、ふつうの日本の女子選手とちがうなと思ったのは、三、四年前だ。カルガリで、全種目入賞をはたした聖子さんに、日本のマスコミ論調はありありとこれで引退。あとは幸せな結婚をというふうだった。が聖子さんは三度目のオリンピックに挑み、体調としては前より悪かったようだが、努力と〝悔なきがんばり〟で念願のメダルを得た▼大体、日本の女子選手の引退は早すぎる。結婚したって子供ができたって、競技をつづけたらいいじゃないかと思う。外国にはそんな選手がいっぱいいる▼年齢も生き方も全くちがう二人だが、学ぶことが多い、と思った。

ヒガシマル

「おいしい」って言わせたいなら…　東　おいしい色のうすくちヒガシマル

＊醸造元＞兵庫県龍野市　ヒガシマル醤油株式会社

まだ戦争は終わっていない——従軍慰安婦問題（2）

兵士の共有の「モノ」に

元従軍慰安婦たちの地獄の日々——福島　瑞穂

前回、一九九一年三月六日に提訴した韓国人従軍慰安婦（アジアの平和と人権センター代表）のことを紹介した。

私は、A さんの話を聞いたとき、その時代のことを話しあうなかで、らくらくのようでしゃべれる。

だまして戦場へ連れていき、日常的に強姦し、戦後、放置したのである。

ところで、A さんの話を聞いた時、私は、「ひどい」と思った。

私は、A さんの話を聞きながら、そこに、「軍用特殊慰安所」という言葉があった。

ところで、私は、現在、組織的に強姦し、戦後、放置したのは、A さんの話だけではない。

ベトナム戦争（ベトナム人民軍対アメリカ）の原因Aさんのことを紹介した

輝しく大きな勝利

支払い基金の女性差別
全面解決を報告する会

長い12年の闘い
成果を次代につなげよう

二月六日夕、「支払い基金の女性差別全面解決報告集会」と祝う会が、東京・千代田区の日本教育会館で開かれた。会場の平安の間は、原告と関係者二百人の、笑顔と嬉しい涙であふれた。十二年――という、長い、長い闘いだった。

闘いの足跡を振り返ってみると…一九七八年二月、特殊法人・社会保険診療報酬支払基金（以下、支払基金）は、男女共に、まったく同じ仕事をさせているにもかかわらず、勤続年数を唯一の基準にして、男性だけを昇格。同じ基準に達している女性三百名を、すべて昇格から外してしまったのだ。女性というだけで差別されるのは、許せないと、八〇年二月、青森から熊本までの同基金支部で働く女性十七名（途中一名加入して原告十八名）が、東京地方裁判所に提訴。

紆余曲折、闘い抜いて九〇年七月、東京地裁は、「憲法十四条（法の下の平等）、労基法三条（均等待遇）、四条（男女同一賃金の原則）の趣旨に反し、民法九十条（公序良俗）に触れる」として、支払基金側に原告のほぼ要求どおりの一億二千四百万円の支払いを命じた。昇格の確認（給料調整）は退けられたが大きな勝利判決だった。

この判決を不服とした支払基金は控訴。

そして、昨年十二月二十五日、東京高裁で、画期的ともいえる全面勝利和解が成立したのだった。

和解内容は、①支払い基金は、性別、組合所属を問わず平等の理念に基づいて全職員の処遇を行う②昇格対象となっている約百四十人の全女性職員を男性と同時期に昇格したものとして扱い、九二年一月以降、給料調整をする③支払基金は原告やその所属労組に解決金として一億五千二百六十万円を支払う――と言うもの。

一審では認められなかった昇格の地位の確認も認められ、裁判に加わらなかった全女性に対しても同様の是正を約束させることに成功し、一審を大きく上回る内容の、全面勝利を手に入れた。

挨拶にたった国公労連中央執行委員長・高島三郎さんは、この和解内容を高く評価し「勝ち取った成果を、全国の男女差別と闘っている女性たちにつなげていく努力をしたい」と述べた。

弁護団を代表して今野久子さんは「一審では勝ち取ることのできなかったすばらしい成果を得られたのは、原告の努力、全基労を始め支援組合の方々、全国の人たちの暖かい応援があったればこそ。最初、支払基金は、男女平等は来たるべき社会の理想像だとうそぶき、問題の焦点をぼかし、何とか引き延ばそうとしていたが、女性を平等に扱うことを約束した。男女平等の流れは、もはや止めることはできない。心と力を強く結び合わせれば勝てる。私も、この闘いで多くのことを学んだ。闘ってくれてありがとう！」。

原告団団長の辻暲子さんは、この日を迎えるために、私たちは十三年ほどを闘ってきた。この闘いがなければ、普通のおばさんで終わったでしょう」といい「今朝、春に先がけ突き上げるように、コブシが蕾をつけているのを見た。私たちもコブシを突き上げてがんばろう、男女が平等に、いきいき働ける春も近い！」と。

十八人の、苦労の闘いの結果は、いま、これから、差別と闘う女性たちの大きな力になるに違いない。

12年、ともに闘った仲間

弁護団と支援した組合に花束を…ありがとう

原告団のみなさんご苦労さま

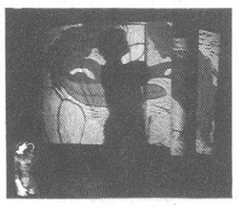
日本版「私はここにいる」

3月11日、東京・上目黒住民センターで上演

アジアの女性たちと創った舞台

アジアの女性たちが育くんできた芸術を再発見しようと編成された「アジアファミニストアート」（afa）は、昨年秋、タイとインドネシアで、現地の演劇人と協力して創りあげ上演した作品「私はここにいる」の日本版を、三月十一日(水)、東京目黒区の上目黒住民センターで上演することになった（十九時開演）。

これは、身体表現と詩の朗読、音楽、絵画、映像（スライド）が加わったもの（コラボレーション）で、昨秋、タイで五回、インドネシアで三回上演され、高い評価を得たもの。日本上演はこれがはじめて。


昨年、タイで上演した舞台

これは、afaの企画であらすじを創りあげたものをタイ、インドネシアの演劇人や観客との討論で手直しを加え、創りかえて行ったもの。タイで、話の舞台になっているイサーンのウーボン村で上演したとき、村の若者たちを日本に出稼ぎに出している女たちは、口々に「日本は夢の国かと思っていたが、こんな苦しい生活があるなんて…」と語ったという。

中で読まれている詩は、タイのカラワン楽団のスリチャイの「イサーン」、「トーキョー」、高良留美子の「まぼろし」、afaワークショップで生まれた「新宿、大久保」。日本とアジアとが文字通り混然と一しょになった実験的な意欲作だ。

台本、構成、演出、朗読＝桐谷夏子、ムーヴメント、美術＝イトー　ターリ、音楽＝高橋悠治＋カラワン、映像原画＝富山妙子、ジャラッシー・ループカムディ。入場料二千円。上目黒住民センターは東横線祐天寺駅下車5分。バス・目黒税務署前下車。

主催、問い合わせ　アジア・フェミニスト・アート☎03・3227・2883。

んほん

「再婚時代」
円より子著

ニコニコ離婚講座を主宰して今年で十三年目という著者が、多くの離婚・再婚の話をケース・バイ・ケース方式で紹介、分析している。

離婚女性の最近の傾向としては、一人ぐらしがいいという女性と、やっぱり子供が巣立ったあとはパートナーがほしいという女性が同率だという。しかも、このパートナーという意味あいも、再婚というよりは、心優しい男と女の関係でありたい、二人で感動をわかち合い、それぞれが豊かに成長できる関係でありたい、ということが基本にあるという。

なぜか？それは「人生の長さ」だという。人生八十年。子供を育てあげても、まだ三十年ある。〝もう一度、男といい関係を持ちたいと思う〟女性主導の再婚時代の到来に、今、改めて男と女の将来のあり方について考えてみたくなる。

（容）

（筑摩書房　千五百円）

「アリランのうた」
オキナワからの証言
朴壽南編集

これは昨年七月完成した同名のドキュメンタリーを制作監督した編者の取材による〝証言記録〟である。撮影したフィルムは沖縄ロケだけで六万三千㍍、韓国ロケ三万八千㍍、これをわずか一時間四十分のドキュメンタリーに編集したのだが、作品に入りきらなかった証言をくわしく再録している。

決して読みいいとはいえない。多少、予備知識がないと理解できないので、初心者向きではないかもしれない。だが、研究者や関心のある人には、実に貴重な資料である。

戦争末期、〝決戦〟を迎えた沖縄にかりたてられたのは将兵だけでなく、朝鮮の軍夫であり従軍慰安婦であった。

天皇の軍隊のもとで、もっとも下積みの存在におかれた彼らがどんな目にあったか。証言を通じて少しずつ真実が浮かびあがってくる。

人間、体験が重く辛いものであればあるほど、いいたがらないものだ。まして、この場合、命令であれ、自分が人を殺したり、あるいは女性を恥ずかしめたりした心の傷である。住民の人の「無理やりにかり出された朝鮮人従軍慰安婦の実情を知らず、バカにして〝ピー〟とよんでいた。今、胸が痛む」という証言に、〝足を踏んでいる側〟の日本人として、心に突きささる痛みを覚える。

（枝）

（青木書店　二千五百七十五円）

「女子学生が読むビタミン」
元気に社会に出るために
「私たちの就職手帳」編集部OB会編

この本は、「社会」というとてつもない「ビョーキ」のるつぼの中へ出ていく「女子学生」のための「処方せん」である。

「処方せん」を「クスリ」では。

（三修社　千六百円）

――そんな書き出しで始まるこの本は、「ビョーキのるつぼ」の中を女性はどのように生きればよいのかを思わず考えこませてしまう。

今は、女性の就職は売り手市場なんて言われているが、実際に上場企業に入れるのは就職する二人に一人ぐらい。しかも、入ってからだって、男女雇用機会均等法に対する企業の苦肉の策、「コース別人事制度」なんてのもある。企業はとことんオジサマ達に都合よくできているわけだ。女性にとっては「とかくこの世は住みにくい」のだけど、「ビョーキ」に屈するのも対抗するのもその人次第。「女子学生」の皆様、まずはこの本を読んで自分の「処方せん」を探ってみては。

（風）

エンジョイスパイス
くらしアカルトラ ▶63◀

ソースが主役の料理
スパイスで国の風味を表現

世界の文化交流が発展すると共に、食文化の交流もめまぐるしいものがあります。日本でも、今や各国の料理が溶けこんで、多種多様あります。

その中でソースが主役となり、一品料理として立派に通用している料理もかなりあります。その いくつかを紹介します と―

フランス料理では「ブイヤベース」。イタリア料理では「パスタソース類、ピッツァ」。スペイン料理では「エスカベッシュ」。アフリカ料理では「クウスクウス」。エジプト料理では「クシャリィ」。そして、インド料理では「カレー」です。

これらは、肉や魚が具として、ソースと一緒になって出来た料理です。当然これらは、ソースの味が重要なポイントとなります。それには、良質のバター、オリーブ油、ブドウ酒、そしてスパイス等が欠かせません。

ソースを作る時に、国境なく使われているのは、ペパーとベイリーブスとガーリックです。また、それぞれの国の特徴を表すスパイスを見てみますと、ブイヤベースでは、サフラン。イタリアのトマトソースには、ハーブ系のバジルやオレガノ。スペインのエスカベッシュには、タイム、パセリ等があげられます。また、アフリカ、エジプト、インド等は、唐辛子を中心とした果実系とシード系のクミンやコリアンダーのスパイスが多く使われています。

このことは、スパイスが持つ風味は、単に素材に芳香をつけたり、臭みをとったりするだけではなく、その国の風味をも表現する働きを持っているといえます。スパイスには、その国の特徴を表す効果があるのです。

（資料提供・ライオン家庭科学研究所／本文・園田ヒロ子／イラスト・細田貞一

女の目で視る ―㉘
「カミーラ」
アルゼンチン＝スペイン合作映画

この物語は、血の独裁といわれたアルゼンチンのロサス政権下で起きた実話だが、六十年前に一度映画化されて以来、制作は禁止されていた。今回の「カミーラ」は、マリア・L・ベンベルグ監督が無許可で撮影を開始し、八三年、アルフォンシン大統領の民主政権下で完成させた映画である。映画が公開されるや、ブエノスアイレスでは毎日、五、六人の女児にカミーラの名がついたという。

一八四七年のブエノスアイレスでは、ロサスを中心とする全体主義の連邦派と西欧的近代国家をつくろうとする統一派が対立していた。カミーラは、連邦派の権力者の家の娘である。家父長制の家庭の中で妻や娘は、受動的であることが求められていたから、ひるまず自分の恋を全うしたカミーラは、そのために処刑されたにもかかわらず、支持を得たのだろう。

カミーラと恋におちた相手が神父だったために、二人の恋は教会の腐敗の口実を統一派に与えた。教会と密着していた連邦派は、統一派の攻撃をかわす見せしめとして、二人に極刑を下すのである。

カミーラの母は、娘は一家の恥だと言う夫に、初めて大声をあげ娘は政争の犠牲だと訴える。銃殺刑が決まった頃、カミーラは子どもを宿していた。神ならばなぜ愛し合う男女を許さないのかと思っていたカミーラも、子どもは神の許しの証しだと信じていたのだ。

聖職者が恋も結婚もできない掟も、家父長制も、人がつくったものである。法律や制度を、より人間的なものに改革できる力をもっていたロサスもカミーラの父も、自分の支配的地位を守ることのほうが、三人の命より大事だった。法や制度が弱者を抑圧するのは本末転倒だ。

「これまでのように男性の独占物であるかぎり、法律は冷たい、非人間的なものでありつづけるのではないでしょうか。そして法律は強者のための論理に終始し、権力のしもべとなって体制に奉仕するものとなってしまうでしょう」――

金城清子『法のなかの女性』（新潮選書）　鈴木　陽子

出かけてみませんか
2月

▼「おしゃべりなティーポット展」
20日(木)～3月3日(火)水曜定休　西武百貨店渋谷店B館8階　器の本来の機能を離れて多彩な表現を試みるアメリカの作家を中心に、自由で個性的なティーポットの数々を展示　入場料…一般・大学生600円、中・高生400円、小学生以下無料

▼「群れて……棲息する街――「遠藤彰子展」」
26日(水)～3月16日(月)10時～19時火曜休館　西武アート・フォーラム（西武百貨店池袋店6階）　安井賞受賞後の5年間の代表作18点と未発表の新作10点を網羅・26・38533）　無料入場料…一般400円(300)、学生300円(200)、（）内は前売り、団体20名以上料金

▼ふろしき展
29日(木)まで10時～18時　T3（東京ガス横須賀ショールーム）YOKOSUKAギャラリー（☎0468

種類豊富な魚市場
切身は一切れが1キロ！

おさかな東西南北

ノルウェーの巻⑥（クヴェイテ）

おなじみの船付き場のそばに、大きなホールがあって、観光客にも有名な魚市場になっている。ここの魚は船付き場の産直魚よりは随分高いけれども、さすがに種類が豊富。だいたい内臓を取って処理してあるし、鮭や、おおきなタラなどは切り身にしてある。ただし、日本の切り身のイメージではなくて、ひときれが一キロくらいの意味だが。

甘海老そっくりの茹でたホッコクアカエビ（生は特別に注文でもしない限り、手に入らない）。ロブスター、蟹、ムール貝も多い。タラはヒーセ、トシュクなどと呼ばれるいろんな種類があった。味も少しずつ違う。カレイも緑っぽいのや、赤っぽいのとさまざまな種類が五十センチくらいのから、十五センチまで大小さまざま。鮭は燻製の仕方や、保存の方法でいろいろな種類があり、塩気、香り、味が違う。マスの類も、五十センチくらいの立派なのが多く、値段も一尾四、五千円で、上等の客料理である。安いのはセイ（英語でコールフィッシュ）という黒っぽい、身が赤い魚やニシン。タラの腹子を山とつんで売っている。魚のすり身も売っていて、キロ千円程だった。白身の魚で人気の高いのがクヴェイテ。これはオヒョウの仲間らしいが、何メートルもある大きな魚で、あっさりしてとてもおいしい。安くはないのでそうそうは買えない。レストランなどで食べると、クヴェイテのソテーに野菜を付け合せたくらいで二千五百円だった。

もっとも、ノルウェーは人件費が高いせいか、外食するととてつもなく高くつく国である。ちょっとしたレストランで軽く食事をしても最低二千五百円から三千円はする。安くあげるには自分で料理するのが一番。レストランも少なく家族で外食というのはよほど特別な時である。日本に帰ってきたとき、安く食事出来る店が沢山あることに感激したものだった。

（中田慶子）

一口メモ

オヒョウ（カレイ目カレイ科）
メスは2.6㍍、オスは1.4㍍にもなる。カレイ目の魚だが、ヒラメの代用になる魚で、脂肪が少なく淡泊な味。日本では北海道など寒冷地の水深100㍍ほどの海底に生息する。寿命も2年と長い。

社）大日本水産会・おさかな普及協議会

自毛を活かして髪を自然に
ボリュームアップ。"イヴ"

「ネコっ毛で髪のボリュームがでない」
「髪にコシがなくなった」
「細い髪でスタイリングがきまらない」…。

そんな方にもっとおしゃれを楽しんでいただくために"イヴ"は生まれました。ご自分の髪になじませることで自然なボリューム感のあるヘアスタイルが甦ります。

※"イヴ"は髪質にあわせて毛色、毛量、ウェーブの強さなどを選べるシステムオーダーメイドです。

1 イヴを固定。

2 自毛をイヴから引きだしブラッシング。

3 自毛と、なじませながらスタイリング。

使用前

自毛を活かしてボリュームアップ。イヴ
EVE
ヘアプラス・システム

●アデランスでは便利な「分割払い」もご利用できます。
詳しい資料をご希望の方は、
●ハガキに請求券を貼り、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、次の宛先までお申し込みください。
〒160 東京都新宿区新宿一丁目6番3号 ㈱アデランス資料係
※封筒には、社名はいっさい入っておりません。
資料請求券 イヴ 全婦3d 2.20

お問い合わせ・ご相談は
年中無休のアデランス
フリーダイヤルへ

●おかけいただいた電話は、あなたの最寄りの相談室に着信されます。通話料金は無料です。お気軽にご相談ください。

■北海道、東北、関東、東京、甲信越、東海の方は
0120-00-0930（オクサマ）
■中京、北陸、関西、四国、中国、九州、沖縄の方は
0120-01-0930（オクサマ）

［営業時間］●日曜・祝日＝9:00～18:00
●平日(火曜定休)＝10:00～19:00

ひとりの、みんなの
アデランス